

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	居室や玄関の施錠は行っていないが、やむを得ず身体拘束(ベッド柵、安全ベルト)を行っている。	身体拘束解決に向けて取り組む。	対象入居者のアセスメント・モニタリングを行い、現状の把握に努め、御家族・関係者等も含め検討を随時行っていく。又全スタッフ共に身体拘束の時間短縮・解決に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	42	週に1度はホームにて調理をし、入居者・スタッフ共に同じ食事を食べているが、その日以外は法人で一括した食事を提供しているため、検食はあるもののスタッフは各自食事を持参している。	毎日の食少量ずつでも、入居者と出勤スタッフが同じ食事メニューを摂取する。	毎週日曜日にホームで食事を作り、入居者に調理の手伝いを行ってもらったりし、同じ食事を摂取している。日曜日以外は厨房より食事をあげてもらい、ホームにて盛り付けを行い提供。今までは、検食を夜勤者が行っていたが、出勤者が多い昼食に検食を変更し、出勤スタッフ全員が少量ずつ全メニューを摂取できるようにして対応してみる。随時検討する。	3ヶ月
3	37	災害に備えた備品等の準備が出来ていない。	災害に備えた備品の準備を行う。	準備必要備品等のリストを作成し、食料・飲料水・備品を順次そろえていく。保管場所等の検討も行っていく。	12ヶ月
4	3	運営推進会議や散歩などを通して、地域との交流に努めている。しかし、地域に向けてのネットワーク作りが不十分である。	地域との交流(ネットワーク作り)を強くする。	今まで同様に散歩等の際の挨拶を始めとして、文化祭等の行事への参加を行うと共に、ホーム行事の参加等の声掛けを行い、ホームの開放に取り組んでいく。	12ヶ月